

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年2月19日

北海道運輸局

協議会名: 北見市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)	地方運輸局等における二次評価結果
北海道北見バス株式会社	温根湯線 北見-留辺蘂-道の駅おんねゆ温泉 運行便数:平日 16便 土日祝 15便 運賃:150円~830円(小人半額)	ホームページの路線・時刻検索などの周知方法を見直し利用者の利便性向上を図った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 利用目標 93,310人/年に対し、実績は 97,659人/年と目標に達することができた。新型コロナウイルス感染症の影響で減少していた利用が回復してきたことが考えられる。	地域の利用者のニーズや、利用状況に応じたより利用しやすいダイヤへの変更の検討等による利用促進に努め、また、運行回数の見直し等により、運行の効率化を図る。	・計画どおり事業は適切に実施されている。 ・一部の目標を達成することができなかったが、引き続き、地域の関係者が連携して、貨客混載・路線再編・観光需要の取込・各種利用促進策などの地域間幹線系統における乗合バス事業の生産性向上に取り組むことを期待する。 ・また、上記取組にあたっては、取組効果を把握して、収支改善に資する取組となるように、適宜見直しを行うことを期待する。
	留辺蘂線 北見-相内-留辺蘂 運行便数:平日 9便 土日祝 6便 運賃:150円~1,330円(小人半額)		A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 利用目標 54,479人/年に対し、実績は 45,976人/年と、目標に達することができなかった。定期利用者の減少や、依然とした利用控えが続いている状況が要因と考えられる。	地域の利用者のニーズや、利用状況に応じたより利用しやすいダイヤへの変更の検討等による利用促進に努め、また、運行回数の見直し等により、運行の効率化を図る。	